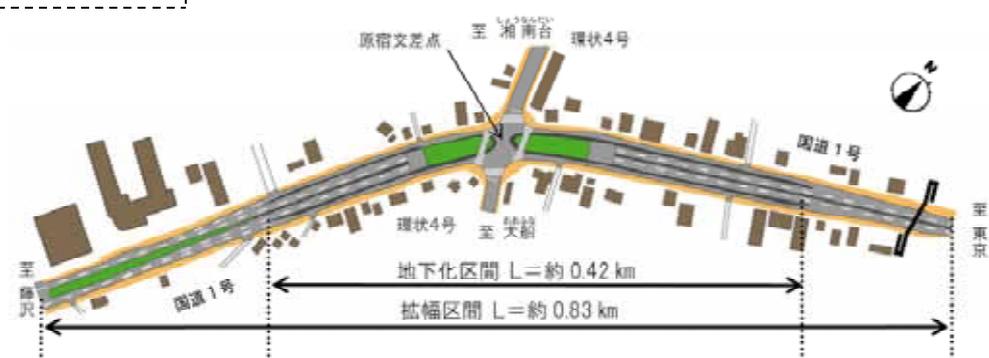


## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道防災課  
担当課長名：木村 昌司

事業名：一般国道1号 原宿交差点改良	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局
起終点： <small>よこはま とつか はらじゆく</small> 横浜市戸塚区原宿	延長：0.83km	
事業概要： 国道1号及び環状4号の交差点(原宿交差点)を延長0.83km区間において立体化する交差点改良事業		
S62年度事業化	S21年度都市計画決定 (S46、S62年度変更)	H3年度用地取得着手 H18年度工事着手
全体事業費：188億円	事業進捗率：53%	供用済延長：0km
計画交通量：42,800台/日		
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 3.4 (残事業) 8.6	総費用：(残事業)/(事業全体) 78/197億円 (事業費：75/195億円 維持管理費：2/2億円)
		総便益：(残事業)/(事業全体) 666/666億円 (走行時間短縮便益：615/615億円 走行費用減少便益：37/37億円 交通事故減少便益：13/13億円)
基準年：平成18年		
事業の効果等 ・慢性的な交通渋滞の解消 ・交通安全性の向上 ・沿道環境の改善 ・横浜以东と藤沢・湘南以西のアクセス強化		
関係する地方公共団体等の意見 ・昭和61年7月 横浜市から原宿交差点立体化の要望有り		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・取得用地を活用した暫定改良実施(H17.3) ・用地買収完了(H18.4) *H17.4事業認定(告示) ・立体化工事に着手(H19.2)		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成18年4月に用地買収が全て完了。平成19年2月から車道の切り替え工事に着手し、本格的な立体化工事を行う予定である。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 昭和62年度に事業化後、用地買収が難航し地元調整に時間を要したが、平成18年4月に用地買収が完了した。上り線を平成20年末頃に開通予定。さらに、平成21年度に下り線の完成を予定。		
施設の構造や工法の変更等 立体化工事発注は高度技術提案型総合評価方式を活用。早期の渋滞解消を図るため工期短縮について技術提案を求め約90日の短縮を図ります。		
対応方針 今後も引き続き工事の促進を図り、整備効果の早期発揮を図るため、平成21年度の立体化工事の完成を目指す。		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。